



## FISA から World Rowing へ

国際委員長 千 田 隆 夫  
2020 特別委員長 細 淵 雅 邦

国際ボート連盟は、1892 年より使用してきた通称、FISA を World Rowing へと変更しました。

2020 年 10 月 18 日の FISA 臨時総会（ウェブ会議）において、国際ボート連盟の通称・商標（ブランド）名を FISA から World Rowing に変更する改定案が承認されました。世界中のボート愛好家が長年慣れ親しんできた FISA の通称は、一般的なコミュニケーションの上では今後は使用されなくなります。臨時総会の議案書に基づいて、この国際ボート連盟の通称の変更の経緯、理由およびその影響を以下に紹介します。

1892 年、国際ボート連盟は世界で最初の国際スポーツ団体として設立され、1896 年の第 1 回近代オリンピックからずっとオリンピック競技であり続けています。1995 年にスポーツ団体としてはじめてブランド名に World を冠し、1999 年から worldrowing.com のウェブサイトを立ち上げ、2011 年からは World Rowing のブランド名に加えて、より現代的な新しいロゴ“enso”を使用しています。今や多くの国際スポーツ団体はその名称を頭文字による略称から World…に変更しており、国際ボート連盟もその通称・商標（ブランド）名を FISA から World Rowing に変更することになりました。FISA は国際ボート連盟のフランス語の正式名称の略称として、“5 本の色違いオール”のロゴは私たちの財産と歴史として残りますが、今後はすべての文書・様式で下記のとおり新しいロゴ、“World Rowing + enso”を使用することになりました。



※ ライトブルーで書かれた“enso”は日本人の書道家・寺本小鳳氏が「清い水/クリーン・ウォーター」をイメージして World Rowing の為に筆で書かれたものです。

World Rowing に変えることの目的は、単一の強力で将来性のあるブランド名 World Rowing を使用することで、国際ボート連盟のすべての運用、通信、管理、統治を統合することにあります。これによって、国際ボート連盟は新しい分野を歓迎し、多様なコミュニティーを私たちのスポーツに引き付けることができます。これまで FISA の名のもとに培われた強力な伝統、評価、歴史に基づいて、激変する世界の中で常に注目と認識を求めて戦い続けることができる、さらに魅力的なブランドが World Rowing なのです。

今後、具体的にどのような変化が起こるかですが、

- 1) 国際ボート連盟が発するすべてのアナウンスやコミュニケーションで、FISA に替わって World Rowing が使用されます。
- 2) 臨時総会で承認されたルール改訂を盛り込んだ新しいルールブックのファイルには、“World Rowing Rule Book”のタイトルが印刷されます（時間がかかりそうです）。
- 3) worldrowing.com のウェブサイトは 2020 年 12 月までに完全に再構築され、worldrowing として検索すればヒットします。
- 4) 国際ボート連盟の機関名、イベント名はすべて World Rowing を冠します。（例）World Rowing Congress, World Rowing Championships
- 5) 国際ボート連盟の役員、審判、スタッフが着るジャケットやシャツは、“World Rowing + enso”のエンブレムやプリントを付けたものに新調されます（これも時間がかかりそうです）。

以上の国際ボート連盟の方針を尊重して、今後、日本ボート協会のあらゆるコミュニケーション、メッセージおよび広報文書において、FISA に替わって World Rowing を使用することが、先日、広報委員会より発表されました。